



マイチェアBasic(ベーシック) 取扱説明書



警告

- ご使用前に、本書を最後までよくお読みください。
- 日常点検を怠ると、思わぬ事故や車椅子の破損につながります。
- お読みになられた後でも、大切に保管し、必要に応じて繰り返しお読みください。

本製品に関するお問合せは、裏表紙をご参照ください。

目次

[1] はじめに	-----	P.3
[2] 安全にお使いいただくために	-----	P.3
[3] 適応	-----	P.6
[4] 使用場所	-----	P.6
[5] 適合・調整	-----	P.6
[6] 耐用年数	-----	P.6
[7] 構成部品と各部の名称	-----	P.7
[8] 機能と特徴	-----	P.8—15
[9] 車椅子に乗る前の点検について	-----	P.16
[10] 廃棄方法	-----	P.16
[11] 安全な使い方	-----	P.17
[12] 日常のお手入れと点検方法	-----	P.18
[13] 保管方法	-----	P.18
[14] 工具	-----	P.18
[15] 仕様諸元	-----	P.19

[1] はじめに

このたびは、数ある車椅子の中から弊社の車椅子をご購入くださいまして、誠に有難うございます。
ご購入いただきました車椅子はMEYRA(マイラ)社が培った技術に新たな技術を用いて、移動および更なる自立性を求める声を実現いたしました。本車椅子は、オプションパーツを使用することで、お客さまそれぞれのスタイルに合わせた仕様に調整が可能です。

⇒ご相談ならびにご不明な点は、お買い上げ販売店へお問い合わせください。

[2] 安全にお使いいただくために

本製品の機能を十分に生かし、かつ安全にご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよく読み内容を理解してください。その後大切に保管し、必要に応じて繰り返しお読みください。

● 絵表示について

この取扱説明書では色々な絵表示をしています。これは本製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々に加える恐れのある危害や損害を未然に防ぐ為の目印となるものです。その表示の意味は次のようになっています。内容を良くご理解の上、本文をお読みください。



危険

この表示を無視して誤った取扱いをすると使用中に不具合を生じ、死亡または重傷を負う可能性が想定され、かつ切迫の度合いが高い内容を示します。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると使用中に不具合を生じ、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると使用中に不具合を生じ、傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると使用中に不具合を生じ、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- 日常の保守点検は1日1回使用前に搭乗者もしくは介助者が必ず行ってください。また、保守点検を行っていない車椅子は使用しないでください。保守点検の方法は [12]日常のお手入れと点検方法 をご参照ください。
- 緊急の時以外は搭乗者が前のめりになるような急ブレーキはかけないでください。搭乗者が車椅子から転落して死亡又は重傷を負う恐れがあります。
- 本製品を使用中はブレーキが確実に効くことを絶えず確認しながら使用してください。ブレーキが効かない場合、介助者が車椅子を制御できず死亡または重傷を負う恐れがあります。
- 階段等を上り下りする際には本体フレーム以外は持たないでください。持ち上げた際に車椅子が破損して階段等から落ち、死亡または重傷を負う恐れがあります。
- 移動している時以外は必ず駐車ブレーキをかけてください。意図せぬ時に動き出して事故等を起こし、死亡または重傷を負う恐れがあります。
- 走行中、身体を乗り出す等して、走行の安全性を損なうことのないようにしてください。車椅子ごと転倒し死亡または重傷を負う恐れがあります。
- グリップ等に荷物をぶら下げないでください。後方に転倒し、死亡または重傷を負う恐れがあります。
- 階段等を上り下りする際は、4名以上の方で車椅子を持ってください。階段等から落ち、死亡または重傷を負う恐れがあります。
- シートの上に立たないでください。車椅子ごと転倒し死亡または重傷を負う恐れがあります。
- 踏み台や脚立のかわりに使用しないでください。車椅子ごと転倒し死亡または重傷を負う恐れがあります。
- 本製品は歩行器ではありません。歩行器がわりに使用しないでください。また、牽引用具や運搬用具として使用しないでください。
- 搭乗者、介助者は本製品を修理改造しないでください。破損等が生じた場合は必ずお買い上げ販売店へ修理交換についてご相談ください。
- 傾斜地での走行または駐車は十分注意してください。車椅子ごと転倒し死亡または重傷を負う恐れがあります。
- 搭乗者と介助者は、本製品の使用方法や取扱注意事項等が理解できるまで本製品をご使用にならないでください。
- 本書の安全に関する指示事項には必ず従ってください。
- 本製品は自動車内の座席としてお使いいただくことはできません。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると使用中に不具合を生じ、傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 直射日光のあたる場所や炎天下の車内に長時間放置したり、熱器具（ストーブ等）の近くで使用しないでください。熱により変色や変形する恐れがあります。著しく変形した本製品は使用しないでください。
- 車椅子走行中は、スポークで指や手などを挟まないようにしてください。
- 市販されているクッション類を使用する場合は、お買い上げ販売店に相談してください。着座中の姿勢に影響を及ぼす場合があります。
- 本製品の搭乗者最大体重は135kg以下（手荷物等の積載物を含む）です。135kgを超える場合は本製品が変形する恐れがあります。変形した本製品は使用しないでください。
- フットサポートや足を段差にぶつけないようにしてください。けがをしたりフットサポートが破損する恐れがあります。
- 走行中、足がフットサポートから落ちないようにしてください。
- 製品の不断の改良により、詳細において本書の内容と異なる場合があります。不明な事柄についてはお買い上げ販売店まで問合せしてください。
- 本製品を組み立てる際は、シートパイプなどで指を挟まないようにしてください。
- 本書に規程した方法以外での使い方に関しては、安全性は保証できません。
- 本製品は改良のため予告なく変更する場合があります。
- 本書の内容に関しては万全を期しておりますが、万一不審な点や誤り、乱丁、落丁記載漏れなどに気付いた場合はお買い上げ販売店までご連絡ください。
- 本書は製品と共に常に手元に保管し、必要に応じて繰り返しお読みください。
- 本書を紛失または損傷した場合は速やかにお買い上げ販売店までご連絡ください。
- 本書の全部または一部を無断で転載複製することを禁じます。

[3] 適応

- 本製品は大人用車椅子です。車椅子は一人用です。牽引用具や運搬用具として使用しないでください。

[4] 使用場所

- 本製品は水平で硬い路面での使用に適しており、以下の場所でご使用いただけます。

⇒ 屋内(例:マンション / デイケアなど)
屋外(例:公園の舗装された道など)
移動の友として(例:バス / 電車など)

- 本製品は個々の使用環境に合わせるためにたくさんの調整が可能です。小さな折りたたみ機能とは別に、最適化されたクロスブレース構造は高い安定性をもたらします。



注意

- ・ お使いになる前に、必ずお買い上げ販売店において、お客さまのニーズに合わせた調整を行ってください。
- ・ 調整箇所は操作技術・お客さまの身体状況・使用環境によって異なります。

[5] 適合・調整

- 全ての安全に関する説明・お客さまのニーズに合わせた調整を、お買い上げ販売店から購入時に受けてください。

⇒ 長期的に最適な適合状態を維持するために、病気や障がいの症状の変化に合わせた定期的な車椅子の調整をお勧めします。
⇒ アクティブな移動を行っていただくために、定期的なメディカルチェックを行うことをお勧めします。

[6] 耐用年数

- 本製品の本来の目的でご利用いただいた場合、ならびに全てのメンテナンス・サービスガイドラインを実施した場合に限り、本製品の耐用年数は平均4年です。
- 本製品の耐用年数はご利用頻度、環境、お手入れにより変動します。
- スペアパーツにて修理対応することにより、製品の耐用年数が延びる可能性があります。
- 規定のスペアパーツは車椅子本体生産終了後でも、5年間は提供が可能です。

⇒ 上記の耐用年数は保証期間を延長するものではありません。

[7] 構成部品と各部の名称

本製品は下記の部品で構成されています。不足部品がないか点検してください。

① 手押しハンドル	-----	介助者が車椅子を押す為のハンドル
② バックサポート	-----	搭乗者の背部を支持する部位
③ サイドガード	-----	衣服の巻き込み、汚れを防ぐためのカバー
④ シート	-----	車椅子の搭乗者が座る部位
⑤ 駐車ブレーキ	-----	車椅子の駐車時に用いるブレーキ
⑥ フットサポート	-----	足部の支持位置
⑦ キャスタ	-----	操舵を行う小車輪
⑧ 駆動輪	-----	自走用車椅子に駆動力を伝える車輪
⑨ ハンドリム	-----	車椅子の駆動輪についている操作用の握り部
⑩ クイックリリースアクセル	-----	駆動輪を取り外す際の車軸
⑪ レッグサポートベルト	-----	足部が後方へ落下するのを防ぐためのベルト
⑫ シートベルト	-----	走行時に身体が投げ出されるのを防ぐためのベルト
⑬ アームサポート	-----	乗車時に上肢を安定させるための肘かけ
⑭ 転倒防止バー	-----	後方転倒のリスクを軽減するもの

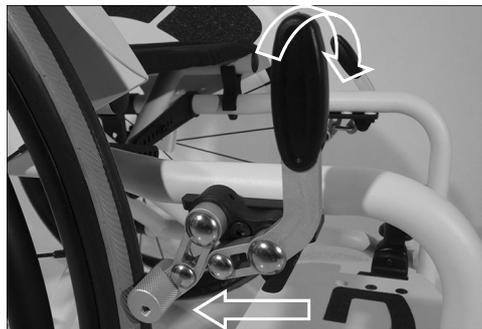


[8] 機能と特徴

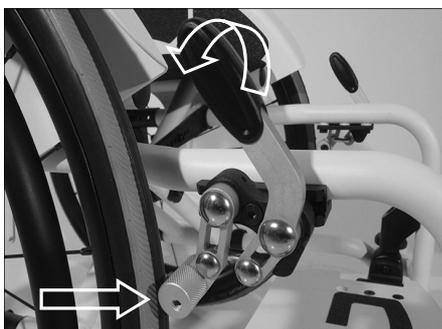
本製品には以下の特徴があります。

1、駐車ブレーキ

ブレーキレバーを前方へ押すことで、車椅子が不用意に前進しないように固定します。



ロック状態



解除状態

解除するには両側のブレーキレバーを後方へ引いてください。



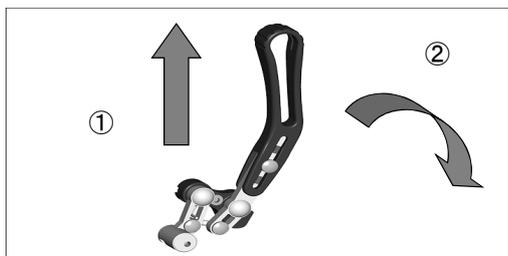
注意

- ・ ブレーキ抵抗が弱まっている場合は、お買い上げ販売店においてブレーキ調整を行ってください。
- ・ 両側のブレーキがかかった状態で車椅子本体を前方へ進ませないでください。
- ・ PUタイヤ装着時には、ブレーキを外した状態で保管してください。
- ・ 両側のブレーキをかけた状態でも車椅子が前方に動く場合は、車椅子を使用しないでください。

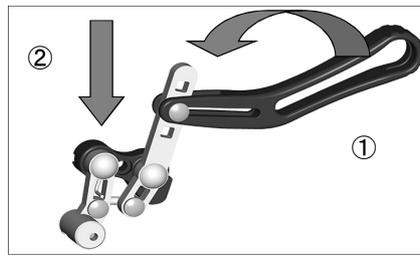
2、ブレーキレバー延長

折りたたみ式のブレーキ延長レバーは、標準のタックルブレーキよりも軽い力でかけることができます。

延長レバーの折りたたみ機能は、移乗動作時のみ行ってください。



延長レバーは上に引き上げてから前方に倒すことができます。



戻す際は後方に起こしてから下にさしこんでください。



注意

- ・ ブレーキレバーを支えとして使用しないでください。破損の恐れがあります。
- ・ ブレーキレバーを可動範囲以上に引っ張らないでください。引っ張り過ぎると事故や破損の原因となります。

3、介助者用ドラムブレーキ(別売品)

ドラムブレーキは介助者によって、ブレーキレバーを介して作動します。
左右のレバーは均等ににぎり、車椅子のスピードをコントロールしてください。



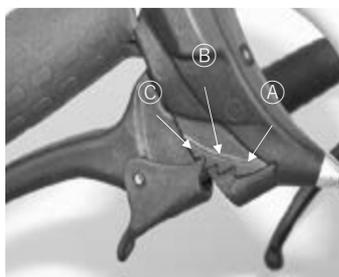
注意

・ 介助ブレーキをかけた状態で走行しないでください。

4、介助者用ドラムブレーキのロック方法



- ① ブレーキレバーを握ります。
- ② ラッチを前方に押してください。



- ③ ブレーキレバーを放します。ブレーキのきき具合に応じて、ラッチをAかBの位置でロックさせてください。
* もしCの位置でないとロックできない場合は、お買い上げ販売店において、再度調整を行ってもらってください。

5、介助者用ドラムブレーキのロック解除方法



- ① ロックされたラッチが自動的に外れるまで、両方のブレーキレバーを引いてください。

6、レッグサポートベルト

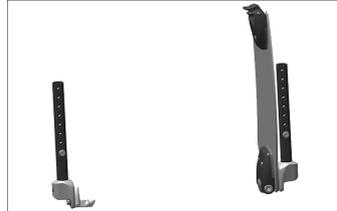


レッグサポートベルトは足がフットサポートの後ろに落ちるのを防ぐためのベルトです。

レッグサポートベルトの長さ調整は、前方のレッグサポートパイプのガイドに取り付けて、マジックテープ®で長さ調整をします。

7、フットサポート

車椅子へ乗り降りする時は、フットサポートを跳ね上げてください。



車椅子を動かすときは、必ずフットサポートを下してください。
フットサポートは足部を安定させるために、使用してください。



・ フットサポートがきちんと安全に固定されていることを必ず確認してください。

・ フットサポートに足を置いて作業する時は車椅子が不用意に動かないように、ブレーキを掛けてください。

8、レッグサポート

レッグサポートは簡単に取り外すことができます。

車椅子への移乗だけでなく、ベッドやトイレなどに近付きやすくするために、内側・外側にスイングすることができます。



①レッグサポートをスイングアウトさせる前に、レッグサポートベルトを外してください。



②その後、ロックレバーを後方に押すか、前方に引くかして、外側(内側)に回転させてください。



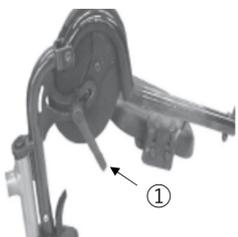
③取り外すときは、外側にスイングアウトした後、上方に向かって外します。

レッグサポートを取り付けるには、フロントフレームパイプとレッグサポート差し込み部を平行にしてください。

固定ピンがはまるまで、ガイドに沿って内側にスライドさせてください。

レッグサポートが固定できたら、フットサポートをおろしてください。

☆レッグサポート角度可変式の場合



レッグサポートを上げ下げするためには、介助者によって補助してもらいながら、クランプレバー(①)を緩めると同時に任意の位置に上下させてください。調整が終わったら、クランプレバーを締めてください。

9、アームサポート&サイドガード(各種仕様によって異なります)

アームサポート全体は、取り外し可能であると同時に駆動輪のスポーク部分や、水しぶきから衣服を保護する役目があります。



- ・ サイドガードとタイヤの間を掴まないでください。指詰めがあります。
- ・ サイドガード・アームサポートを掴んで車椅子を持ち運ばないでください。
- ・ 介助者が車椅子を押している時は、搭乗者はアームサポートパッドの上もしくは、膝の上に手を置いてください。
- ・ 身体とサイドガードの間には手を置かないでください、挟み込む恐れがあります。
- ・ サイドガードなしで車椅子を操作しないでください。

10、アームサポート&サイドガードの跳ね上げ



①アームサポートを固定しているレバーを解除します。

☆ロックレバーが上向きときは、ロックが解除されています



②その後、アームサポートを上方に跳ね上げます。



③座シート側方にあるガイドに沿ってアームサポートを差し込みます。

☆ロックレバーが下向きときは、ロックされています



④バックパイプのブラケットにアームサポートがおさまっていることを確認してください。

11、アームサポート&サイドガードの後方折り畳み

車椅子の移乗の際、アームサポートを跳ね上げてから、バックサポート後方に折りたたむことができます。

*アームサポート跳ね上げ操作については、前述10を参照してください

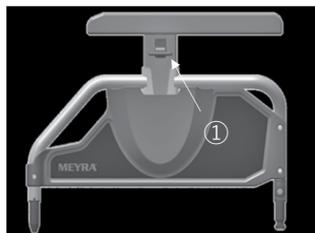
- ①ロックレバーを解除して、アームサポートを跳ね上げます。
- ②それからアームサポートを約90° 外側に向かってバックサポートの後方に折りたたみます。



・ドラムブレーキ装着車の場合、後方へ折りたたむことができません。

12、アームサポートの高さ調整

高さ調整式アームサポートは5段階の高さ調整が可能です。



- ① 高さを上げ下げするときは、レバーを引くか押かしている間、スライドさせることができます。
- ② カチッと音がするまでアームサポートをスライドしてください。
- ③ アームサポートを押ししたり引いたりして、固定されていることを確認してください。

13、駆動輪

クイックリリース

ホイールは工具を使うことなく、着脱することが可能です。ホイールの中央にある、ロックボタンを押しながら、着脱を行います。

ホイールの着脱は車椅子に誰も乗っていない状態で行ってください。

車椅子は平らで安定した場所に置いてください。

ホイールを着脱する前に、フレームを支えてください。車椅子が転倒することを防ぎます。



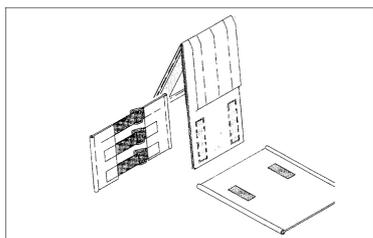
- ・ホイールを挿入後、車軸ノブの先端がナットから数mm出ていることを確認してください。
- ・組み立て後、ホイールを押ししたり引いたりして、完全にロックされているか確認してください。
- ・ホイールが片側に傾いていたり、ガタツキがある場合は、至急、お買い上げ販売店で点検をしてください。



14、バックサポート

バックサポートは、張り調整が可能です。

- ① シートをはがし、前方に折りたたみます。
- ②マジックテープ®を着脱して張り調整を行います。
- ③ シートを元に戻します。



- ・ アウターシートの折りかえし部分は柔らかいため、シートとマジックテープ®の上端に隙間を作らないようにしてください。
- ・ ユーザーが再びバックサポートにもたれるときは、注意が必要です。
- ・ 圧力が一箇所に集中しないように、マジックテープ®を調整してください。

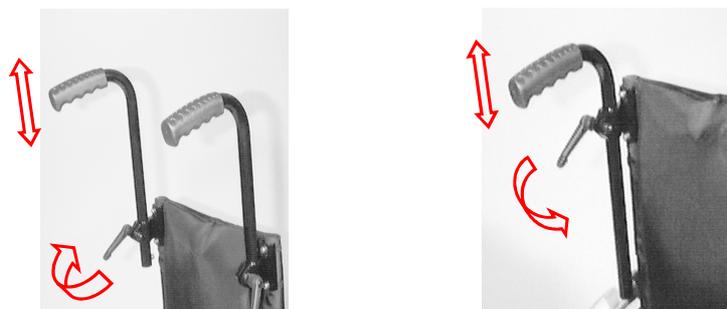
15、手押しハンドル(別売品)

高さ調整式手押しハンドルは、バックパイプにアタッチメントを使って取付けます。



<高さ調整方法>

まず、片手で手押しハンドルをしっかりと握り、もう一方の手でレバーを緩めてください。
手押しハンドルをご希望の高さまでスライドさせ、レバーでしっかりと固定します。



<手押しハンドルの取り外し>

レバーを緩めて手押しハンドルを引き上げて抜き取ります。プッシュボタンを押し込んで、手押しハンドルを引き上げアタッチメントから外します。



<手押しハンドルの取付け>

プッシュボタンを押し込んで、アタッチメントの上部から差込みます。手押しハンドルをアタッチメントを通してスライドさせ、ご希望の位置でしっかりとレバーを固定してください。



16、スポークカバー(別売品)

スポークカバーはスポークそのもののダメージを防ぐとともに、車輪回転時の指つめも防止します。

スポークカバー交換の際は、お買い上げ販売店に依頼してください。

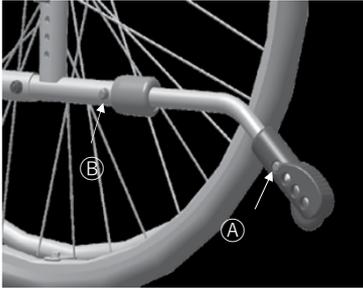


17、転倒防止バー

転倒防止バーは後方への転倒のリスクを軽減させます。不要時には、シートの下に折りたたんで収納することが可能です。

転倒防止バーはすべての状況に対応して後方転倒を防ぐものではありません。

両側に転倒防止バーを装着するとキャストUP時により安定性が増します。



転倒防止バーの長さは、スプリングボタン(A)を押しながら、スライドさせて調整してください。

転倒防止バーはティッピングバーに差し込んで使用してください。

転倒防止バーの取り外しは、スプリングボタン(B)を押しながらスライドして行ってください。

18、シートベルト

シートベルトは座位の安定性を高めます。急ブレーキの時など、搭乗者がシートから滑り落ちを防止します。



ベルトは、前方で両側の金具を合わせて固定してください。固定されているか確認してください。



注意

・ シートベルトの取り付けは、お買い上げ販売店において行ってください。

・ シートベルトは、自動車乗車中における車椅子・搭乗者を固定するためのものではありません。

ベルトを外す時は、バックル外側にある赤色のボタンを押してください。



注意

・ ベルトと身体の間、何も挟まっていないことを確認してください。

・ 圧が高まって、痛みを伴う場合があります。

ベルトの長さ調整

ベルトを後方へ引いたり前方に引いたりすることで、長さを短くしたり長くしたりすることが可能です。

スライダーの位置を調整することで、ベルトのたるみを防ぎます。



注意

・ シートベルトは引っ張り過ぎると、締め付けがきつくなります。

・ ストラップに対して、バックルや固定具が90° になるように保持してください。

19、本体フレーム開閉

(折りたたみ時)

シートクッションがある場合、クッションを外します。

フットプレートを完全に跳ね上げます。

座シートの前端と後端中央を持って、引き上げます。



車椅子の運搬

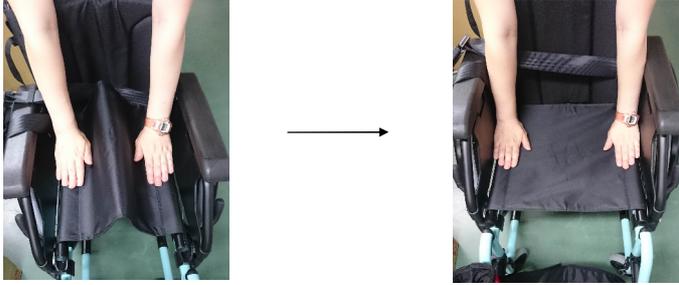
車椅子を折りたたんで持ち運ぶ際は、片方の手でベースフレームの下を持って、もう片方の手でバックサポートを後方から支えて行ってください。



シートパイプを持って本体を持ち上げると、本体フレームに想定外の重量が掛かった場合に、本体フレーム折りたたみ部品(たすき)が外れる場合があります。

(開ける時)

シートパイプの上端に指を揃えてから、下側に押し込んでシートパイプ受けにはめ込んでください。



シートパイプを押し込む際に、パイプを握らないでください。指を詰める可能性があります。

20、運搬・車載方法

車椅子本体を持ち上げる際には、レッグサポート・アームサポート、その他付属品を持たないでください。

持ち上げる前に、ブレーキがかかっていることを確認してください。

輸送時に使用する固定システムの取り付けは可能です。



本製品は自動車内の座席としてお使いいただくことはできません。

[9] 車椅子の乗る前の点検について

本製品をご購入いただいた場合は、ご使用前にまず下記のチェックを行ってください。

	<h1>注意</h1>	この表示を無視して誤った取扱いをすると使用中に不具合を生じ、傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。
---	-------------	---

〈ご使用前に必ず次の点検を行ってください。〉

- | | | |
|--------------------------------|-------|--------------------------|
| (1) 手押しブレーキは効くか | ----- | <input type="checkbox"/> |
| (2) シートやバックサポートは緩みなく取り付けられているか | ----- | <input type="checkbox"/> |
| (3) シートやバックサポートに損傷や裂け等はないか | ----- | <input type="checkbox"/> |
| (4) 縫製部分のほつれはないか | ----- | <input type="checkbox"/> |
| (5) マジックテープ®の接着不良はないか | ----- | <input type="checkbox"/> |
| (6) 各部にひび割れや欠け、変形等はないか | ----- | <input type="checkbox"/> |
| (7) 各部のねじにゆるみやガタツキはないか | ----- | <input type="checkbox"/> |
| (8) カシメ部分にゆるみやガタツキはないか | ----- | <input type="checkbox"/> |
| (9) 駆動輪がパンクしていないか | ----- | <input type="checkbox"/> |
| (10) その他異常はないか | ----- | <input type="checkbox"/> |

万一破損や異常が発生した際にはそのまま使用しないで、必ずお買い上げ販売店にご連絡ください。異常状態のまま、絶対に使用しないでください。

[10] 廃棄方法

車椅子を廃棄する場合は、お住まいの自治体にお問合せください。

[11] 安全な使い方

1、段差での走行方法

- (1) キャスタが段差の直前になるような位置で停車します。このとき、段差に対して車椅子を直角に止めてください。
- (2) 手押しハンドルを押しながら(必要であれば転倒防止バーを踏んで)車椅子をティルトさせ、キャスタを段の上に持ち上げてください。
- (3) 駆動輪を段に突き当て、車椅子を押しながら手押しハンドルを持ち上げます。

2、坂道での走行方法

下り坂ではハンドリムを使ってスピードを落とし、必ず前向きで走行してください。

上り坂では上体を前傾させて重心が後方へ倒れることを防いでください。いずれも可能であれば、他の人の介助を得てください。特に4.5°(8%)を超える勾配(下図参照)は危険ですので、決して上り下りしないでください。

のぼり際に、急発進や、バックサポートの後ろに荷物を下げること、上体をそらして後方へ体重をかけることはしないでください。転倒の恐れがあります。

3、傾いた道での走行方法

傾いている側の手に力を入れて、車椅子が道の低い方へ曲がらないようにしてください。普通の押し方では低い方へ曲がってしまいます。

4、溝のある道での走行方法

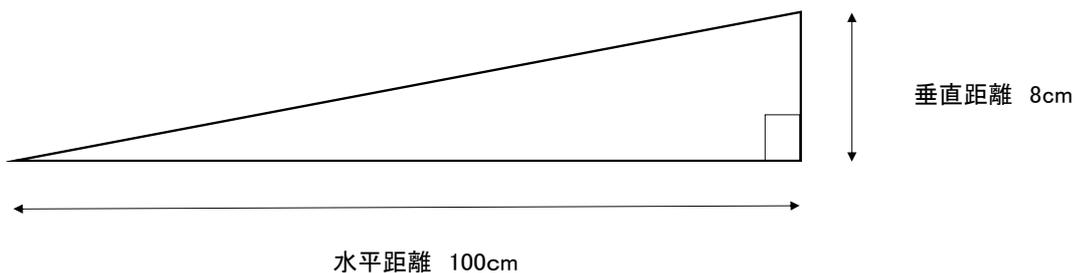
キャスタや駆動輪の幅や直径よりも広い溝や踏み切り等を通る際には、溝に対して直角になる角度で進入してください。直角でない場合、キャスタや駆動輪が溝にはまる恐れがあります。「11-1段差での走行方法」のように、溝の手前でキャスタを持ち上げてから通過するのも1つの方法です。

※グレーチング(側溝を埋める金網)を通る際には直角ではなく、斜めに進入してください。



- ・ 交差点や踏切では特に注意してください。
- ・ 交差点や踏切内で立ち往生すると大変危険です。

【図:8%の勾配】



[12] 日常のお手入れと点検方法

下記の部分を1日に1回ご使用前に必ず点検してください。また、点検していない車椅子はご使用にならないでください。



点検の結果異常を発見された際にはそのまま使用せず、お買い上げ販売店に修理を申し出てください。

1、手押しブレーキ

駆動輪の空気圧が適正で、乗車状態にある時、ブレーキを掛けた際、前後に動かない状態が適正な効き具合です。上記状態で動く場合は、そのまま使用せず、お買い上げ販売店に申し出てください。

2、駆動輪およびキャスト

- (1) 駆動輪に空気は入っているか。(適正空気圧はタイヤ側面に明記)
- (2) パンクしていないか。
鋭利な物体、釘、ねじ、ガラスの破片などによって、空気入りタイヤがパンクした際には、チューブを修理か交換してください。
- (3) 駆動輪やキャストに異物が刺さっていないか。
- (4) 駆動輪の溝はあるか。(最低スレッド深さ=1mm)
- (5) 駆動輪に大きなひずみや損傷はないか。
- (6) 駆動輪の空気バルブがゆるんでいないか。
- (7) 大きなガタツキがなくスムーズに回転するか。

3、フットサポート

- (1) ねじが緩んでいないか。
- (2) 汚れた場合はぞうきん等で拭いてください。

4、バックサポート・シート

汚れた場合は車椅子から取り外し、やわらかいスポンジやタオルを使用し、中性洗剤で汚れを洗い落としてください。

5、シートパイプなどの塗装面

ぬれたタオルを固く絞って中性洗剤を用いて拭いてください。

[13] 保管方法

水分や直射日光をさけ、日陰で保管してください。

[14] 工具

調整とメンテナンスには以下の工具が必要です。

- | | |
|---------------------|------------|
| (1) オープンエンド又はメガネレンチ | 6.8.9.10mm |
| (2) 六角レンチ | 3.4.5mm |
| (3) ドライバー | + / - |

ねじの締め付けトルク値

他に記載がない限り、ねじの締め付けは以下のトルクで行ってください。

M4ねじ…3Nm M5ねじ…5Nm M6ねじ…10Nm
M8ねじ…25Nm M10ねじ…50Nm M12ねじ…85Nm

※トルクレンチなど適切な工具がない場合はお買い上げ販売店に調整してもらうようにしてください。

[15] 仕様諸元

型式

マイチエアBasic (ベーシック)
Model: 1.730

	最小	最大
全長(mm) ※	980	1025
全幅(mm) ※	560	730
本体許容合計重量(kg)	—	151
シート奥行(mm) ※	400	460
シート幅(mm) ※	360	530
折り畳み時全長(mm) ※	980	1025
折り畳み時全幅(mm) ※	300	300
折り畳み時高さ(mm) ※	970	970
前座高(mm) ※	440	560
シート角度(°) ※	0	4
背座間角度(°) ※	100	100
背シート高(mm) ※	380	440
許容最大荷重(kg)	—	135
	荷物などがある場合、搭乗者の体重からその分を減らしてください。例えば、5kgの荷物を持つのであれば、搭乗者体重は5kg減らして130kgとなります。	
下腿長(mm) ※	350	510
停車時の下り勾配(°)	6	6
停車時の上り勾配(°)	6	6
停車時の外側勾配(°)	6	6
走行時の上り勾配(°)	4.5	4.5
膝角度(°)	111	207
アームサポート高(mm) ※	210	260
ハンドリム直径(mm) ※	540	540
車軸位置(mm) ※	-25	35
障害物の高さ(mm) ※	0	100
最小回転半径(mm) ※	1250	—
本体フレーム長(mm) ※	720	765
全高(mm) ※	970	970
使用可能温度(°C)	-25	+50

※ 許容寸法±15mm ±2度

品質保証書

本製品は、弊社の品質管理・検査のもと皆さまのお手元にお届けしておりますが、万一故障した場合には保証規程に基づき無償修理いたします。その際は現品に保証書を添えてお買い上げ販売店へご提出ください。

製品名 (Typ)		マイラ車椅子「マイチエアBasic(ベーシック)」(1.730)		
シリアルナンバー		受注番号	シリアル番号	製造年一週
お客さま 情報	(フリガナ)			
	ご氏名			TEL
	住所	〒		
ご購入年月日		年 月 日 (保証期間本体フレーム2年その他1年)		
販売店名 住所 TEL				

- ご購入年月日、お客さま情報の欄に記入がない場合は無効となります。必ず記入の有無をご確認ください。もし、記入がない場合は、直ちにお買い上げ販売店にお申し出ください。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管ください。
この保証書は、本書および保証規程に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するもので、この保証書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間が過ぎた後の修理等についてご不明の場合はお買い上げ販売店までお問合せください。

＜保証規程＞

1. 保証期間はご購入の日から本体フレーム2年間、その他1年間です。保証期間内に発生した故障については弊社が無償修理致します。
2. 保証の対象となる部品は本製品一式です。ただし、消耗品は除きます。
3. 無償修理には保証書を提出してください。
4. 本製品に関するご相談は、お買い上げ販売店または下記連絡先にて承ります。
5. 保証書の保証対象とならない故障および損傷につきまして、弊社の責任に帰属する場合は、保証期間に関わらず無償修理いたします。
6. 次の場合には、無償修理はできません。ただし、特にご希望の方には実費にて修理いたします。
 - ① 保証書を紛失された場合
 - ② 誤ったご使用方法、あるいは誤った修理・改造による故障・損傷
 - ③ 火災、地震等の天変地異による故障・損傷
 - ④ 保証書にご購入年月日、お客さま情報、シリアルナンバーの記入のない場合、または不当変更を加えられた場合
 - ⑤ ご購入後の輸送、移動、落下等による故障・損傷
7. 本書は日本国内においてのみ有効です。

● 輸入・販売元

k パシフィックサプライ株式会社

本 社 〒574-0064 大阪府大東市御領1-12-1
TEL 072 (875) 8008 FAX 072 (875) 8010

<https://www.p-supply.co.jp/>